

河川砂防技術開発公募(地域課題分野【河川生態】)研究一覧

年度	課題名	研究テーマ名	期間	所属機関	研究代表者
R6	流域治水を視座においた生物多様性のためのハビタットの保全・創出とその評価に関する研究	徳島県吉野川の流域治水における農地の活用と生物多様性保全に関する環境防災学研究	FS:R6 一般:R7~	徳島大学	鎌田 磨人
R5	流域治水を視座においた生物多様性のためのハビタットの保全・創出とその評価に関する研究	多様な扇状地河川を有する富士川流域における治水と環境を両立する流域治水策の検討に向けた研究	FS:R5 一般:R6~ R10	山梨大学	大槻 順朗
R4	流域治水を視座においた生物多様性のためのハビタットの保全・創出とその評価に関する研究	気候変動及び流域治水シナリオに基づく生物多様性の評価とハビタット管理手法の提案	FS:R4 一般:R5~R9	名古屋工業大学	萱場 祐一
R3	河川の本流支流や上下流など縦断方向の連続性、また河原・遊水地・霞堤・周辺部など横断方向の連続性が生態系の回復・保全に果たす機能評価に関する研究	河川における生息地連続性の重要性 - 河川生態系への影響評価および保全方策	FS:R3 一般:R4~R8	長野大学	箱山 洋
R2	大規模な洪水攪乱下での河川構造の複雑性の機能と河川生態系の保全・回復に関する研究	大規模攪乱後の生態系回復プロセスとそれを担保する河川構造 :2つの時間軸(平成29年7月九州北部豪雨と1720年6月享保水害)に着目したアプローチ	FS:R2 一般:R3~R7	九州大学	鬼倉 徳雄
H31	河川・湖沼における大規模な水位変動が陸域・海域との連続性を含めた生態系に及ぼす影響の解明と防災・減災も意識した健全な生態系の保全・再生の手法に関する研究	流況変化に対する河川-海洋沿岸生態系の応答:狩野川水系における解明と生態系保全策	FS:R1 一般:R2~R6	静岡大学	塚越 哲
H30	河川事業が生物の生息・成育・繁殖さらに河川生態系に与えた影響およびその評価に関する事例の解析とこれらの知見に基づく改善に関する研究	伝統的河川工法を用いた木津川の河床地形管理手法に関する研究	FS:H30 一般:R1~R4	京都大学	竹門 康弘
H29	気候変動(地球規模から局地的なものまでを含む)などの影響による降雨や洪水の発生状況の変化、あるいは大規模な地震や土砂崩壊などに伴う、「大型攪乱」による棲息場所の「破壊」などの河川における変形が、生物の生息・成育・繁殖さらには生態系に与える影響の総合的研究	気候変動下における河川生態系のレジリエンス - 河川構造、生物多様性、生態系機能に着目して-	FS:H29 一般:H30~ R4	北海道大学	中村 太士
H28	社会的変化や気候変動も踏まえ、将来へ向けた国土保全の観点から、河川におけるいわゆる「生態系サービス」を具体的な河川又は河川群を対象として評価する研究	湧水は河川の生態系形成と物質循環にどのような影響を与えているか	FS:H28	静岡大学	加藤 憲二
		木曾三川流域における生物群集を対象とした河川生態系の管理手法に関する研究	FS:H28 一般:H29~ R2	岐阜経済大学	森 誠一
H27	河川・湖沼の生物群集・生態系の生物生産に関し、二次生産を中心にモデル・野外調査を駆使した研究	河川中流域における生物生産性の機構解明と河川管理への応用	FS:H27 一般:H28~ R2	信州大学	平林 公男
H25	生態系を保全することを含めた河道内の地形改変等の影響及びその効果の早期発現・機能維持に資する研究	流域地質及び河道・氾濫原改変が菊池川水系の河川生態系の構造と機能に及ぼす影響とそれに基づいた河道管理手法に関する研究	FS:H25 一般:H26~ H30	九州大学	島谷 幸宏
H24	治水事業の実施等に伴う流況や土砂動態の変化が、湖沼等の閉鎖性水域及びその周辺水域の水環境、生物の生息・生育環境及び水利用に与える影響の把握と対策に関する研究	岩木川下流域における河川生態系の構造と機能に関する研究	FS:H24	八戸工業大学	佐々木 幹夫
		人との相互作用によって持続する汽水湖生態系の構築	FS:H24 一般:H25~ H29	東京大学	山室 真澄
H23	河川管理の高度化・合理化及び河川環境の向上を効果的に実現する技術研究	河川景観ネットワークの連結性と時空間変化 - システムの脆弱性と頑強性の解明 -	FS:H23 一般:H24~ H28	北海道大学大学院	中村 太士

※ 平成26年度は新規課題の採択なし